

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	地震、土砂災害等の防災各種マニュアルの見直しは行った。 防災訓練は行っているが、入居者様や地域の方の参加がない。 備蓄品はあるが、リストが無い。	実体に合った防災訓練の実施	備蓄品リストの作成及び定期点検の実施。 入居者様との訓練の実施。(地域の方への呼びかけを行う)	6ヶ月
2	7	職員お互いに注意をし、スピーチロックに気をつけている。今後も継続していきたい。 今後は、入居者様がより気持ちよく感じる声かけの工夫を行っていく。	スピーチロック・虐待の防止	職員お互いに注意し合う。 言動の例をあげて書面にし、スタッフルーム等に貼る。 入居者様にとって気持ちよく感じる声かけを行う。 どういう声かけをすればその方が気持ちよく過ごせるのか、職員全員で話し合う。	3ヶ月
3	23	ご本人の行きたい場所への外出支援を少しずつ行っている。 まだまだ会話や表情の中からの気づきは少ない。	一人ひとりの思いや夢への実現に取り組む	気づきの情報の共有。 会話の時間を増やす。 夢をかなえるためのプランを作成する。	12ヶ月
4	2	地域の方からはどんな施設なのか少しずつ理解して頂いている。施設にもっと気軽にもらえるような居場所づくりをしていきたい。	地域の方の相談窓口としての役割をはたす 地域の方に気軽によってもらえる施設となる	催し物等を通して、気軽によって頂けるような雰囲気づくりを行う。 図書コーナーをつくり、くつろぎの空間を設ける。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。